

## あわら市脱炭素ロードマップ（案）に対するパブリックコメント募集の結果

1 意見募集期間 令和7年12月26日（金）～令和8年1月8日（木）

2 意見提出者数及び意見件数

（1）提出者数 1人

（2）提出意見数 1件

3 提出方法 メール

4 提出された意見の概要及び意見に対する考え方

N o	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方	案の修正
1	<p>○K P Iの設定に関する意見</p> <p>①本計画におけるK P Iの設定について、K P I 5項目のうち、4項目は市民（家庭部門）の意識や行動に関する指標であり、産業部門に関するK P Iは「事業者向けイベント開催数」のみで、排出削減の主たる対象が産業部門であるにも関わらず、評価指標の中心が市民側におかれている点は、目標達成の実効性を測る上で課題があると考えます。</p>	<p>ご指摘いただきましたK P Iの追加については、目標数値と確認方法を追加し、事業者の行動変容を測るよう次のとおり修正します。</p> <p>K P I：C O<sub>2</sub>排出量の把握（見える化）をしている事業者の割合</p> <p>現状：13%（2025（R7）年度）</p> <p>2030年度：18%</p> <p>確認方法：聞き取り調査・アンケート調査</p> <p>2030年度設定根拠：毎年+1%</p>	有り
	<p>②市内事業者の約87%が自社のC O<sub>2</sub>排出量を把握していない現状を踏まえると、「事業者のC O<sub>2</sub>排出量把握率（見える化率）」や「省エネ診断を実施した事業所数」など、産業部門の基礎的な行動変容を測るK P Iを追加すべきである。</p>	<p>ご指摘いただきました内容を検討し、上記のとおり対応します。</p>	有り

N o	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方	案の修正
	<p>③本計画では、K P I とは別枠で「再生可能エネルギー導入目標」が設定されているが、K P I に産業部門の取組状況が市民（や議会）から見えにくい構造となっている。削減量そのものを一律に数値目標化することが難しい側面は理解できるが、少なくとも「排出量の把握」「省エネ・再エネ導入への着手」といった初期段階での行動をK P I として数値管理しなければ、実行性ある進捗管理は困難である。</p>	<p>ご指摘いただきました内容を検討し、上記のとおり対応します。</p>	<p>有り</p>
	<p>④以上を踏まえ、K P I については、市民（家庭部門）と産業部門のバランスを見直し、排出構造に即した指標体系へ再整理することを求める。</p>	<p>ご指摘いただきました内容を検討し、上記のとおり対応します。</p>	<p>有り</p>